

# Blue Practice株式会社



代表取締役社長  
鈴木 宏治 氏

## ●企業の概要

企 業 名 : Blue Practice株式会社  
代 表 者 : 代表取締役社長 鈴木 宏治  
住 所 : 東京都港区北青山2丁目7-13  
プラセオ青山ビル3階  
(研究開発センター)  
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz406  
設 立 年 : 2019年  
業 種 : 医療シミュレータ製品の開発製造販売  
資 本 金 : 68百万円  
従業員数 : 6名

## ●事業の概要

カテーテル治療分野における個別化医療の推進を目的として、患者固有の血管構造や病変部位を高精度に再現した「症例モデル」を用いた医療ハンズオンサービスを展開する東北大学発スタートアップ企業。

本サービスにより実臨床に直結した治療戦略の立案支援や術前の手技確認、使用するデバイスの事前検証を通じて安全性と精度の高い治療の提供に寄与することを目指す。



当社ホームページ



研究開発センター

## 患者固有の血管構造や病変部位を高精度に再現した「症例モデル」を用いた医療ハンズオンサービスを展開。患者・医療従事者双方の負担軽減と精度の高い治療の提供に貢献する



モデル製作の様子



当社が開発した「症例モデル」

### ●受賞の理由

国内における血管内治療の症例数が年々増加しているなか、特に脳血管内治療は症例毎に異なる血管構造が治療手技の難易度に大きく影響するにもかかわらず、臨床の現場での治療シミュレーションは依然として既成の汎用モデルに頼らざるを得ないという状況にある。さらに術前に十分な検証や訓練が行える環境が乏しく、またモデルの製作には数週間を要し、緊急性の高い症例には対応できないケースも発生するなど多くの課題がある。

当社が展開する「症例モデル」を用いた医療ハンズオンサービスは、患者毎の血管形状を再現したシミュレーションモデルを活用することで術前準備や訓練、使用するデバイスの適合性検証等の対応を可能とし、安全性と精度の高い治療の提供に寄与できるものである。本サービスでは、東北大学が長年にわたり研究してきたPVA/ハイドロゲル素材を活用し、高い生体模倣性のあるシミュレーションモデルの製作に成功し、実際の血管内操作感覚に極めて近い高精度なシミュレーションを可能とした。当社は最短7～10営業日という短納期を実現しており、術前に使用することでより安心で無駄のない施術を可能とし、最大50%の施術時間短縮を実現できる。本サービスにより患者の負担はもちろんのこと、医療従事者にとっても精神的・身体的負担を大きく軽減させることができ、医療現場の課題解決につながることから大いに評価できるものである。

血管内治療は脳血管や心血管などの疾患に対し、効果的な治療法として世界的にも普及してきている。特に高齢化の進展や生活習慣病の増加を背景に増加傾向にあり、特に高齢化が進む国では急速な需要拡大が見込まれる。当社の開発する生体模倣性の高い「症例モデル」は日本はもとより世界の血管内治療の発展に大きく貢献することが期待される。